

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Uライフ		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日		2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日		2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心感をもって通うことができている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの居場所づくりを意識した支援を行っており、それぞれのペースに合わせた活動提案や目標の提示を行っている。</li> <li>必要に応じてテントや半個室空間などの提供を行い、クールダウンできる環境作りや、危険回避のための配慮を行っている。</li> <li>スケジュール用やタイマーの使用など、見通しが持てるような環境づくりを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パーテーションなどを使用して、クールダウンを行える空間を増やす。</li> <li>事業所の環境を通信などで伝えられるようにしていく。</li> </ul>
2	季節行事に力を入れている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節に合わせた制作や活動を行い、その様子を事業所の通信で伝えることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4つの基本活動を意識した活動企画を組めるように企画書を改良する。</li> <li>集団活動の機会が少ないため、提供できるようにする。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での状況共有の機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもがいない時間に全職員が集まれるタイミングがない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援ソフトや日報を活用し、顔を合わせなくても情報共有が十分に行えるようにする。</li> <li>週に一度は必ず対面でのミーティングを行う。</li> </ul>
2	保護者間での交流の機会を提供できていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者同士の繋がりについて意識を向けられていなかった。</li> <li>家族が参加できる研修会などの案内をしていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者同士の繋がりに関して意向を聞き取り、必要に応じて交流の場の提供や会の実施を行う。</li> <li>家族が参加できる研修の案内を行う。</li> </ul>
3	集団活動の機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの特性上、個々での活動が中心になってしまっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休暇等に児童館を利用するなど、集団活動の機会を作る。</li> <li>外出活動を提供し、周りと合わせて動く経験を積めるようにする。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Uライフ

公表日 2025年2月28日

利用児童数 2025年2月20日現在 21名

回収数 14枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2		1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	3		2		事業所の通信で活動空間の写真を共有し、様子がわかるようにする。ホームページの写真を更新し、現在の様子がわかるようにする。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1		3		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	2		1		事業所の通信で定期的特集（支援プログラムについてなど）を組み、伝えられるようにする。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1		1		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1		1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	4				長期休暇に交流の機会を企画する。また、平日に行っているイベントを調べ、参加できるようにする。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13		1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	1	5		研修会の案内配布を行う。また、計画書説明の機会などに面談を行い、情報提供を行う。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13		1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13			1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4	2	3	5		保護者同士のつながりを求めているかニーズ調査を行い、必要に応じて対応する。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	2		1	活動の様子の写真を定期的に配布するなどして、事業所の様子がよりわかるようにする。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			4	事業所の通信で、計画の内容や訓練の様子等を伝えられるようにする。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			3	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		4	事故発生時は、その経過も含め、細かく迅速に伝えるようにする。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1		1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	Uライフ		公表日		2025年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4		バリアフリー化はされていない。現状は自力で歩行できる利用児のみであり、階段などは必要に応じて職員の付き添い等に対応している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2		おもちゃの消毒等行き届いていない部分がある。ガントタイプの消毒ボトルの購入など、効率的に消毒できるようにする。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	デントや物の配置によって半個室状態になる場所を作っている。	個室の数が少ない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3		計画書作成は児童発達支援管理責任者と担当職員が中心となっている。広く参画できるように改善する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		第三者評価を利用していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1		各職員の勤務時間が異なっているため、MTGで情報共有できる機会が少なくなっている。日報等を活用して、情報共有し、共通理解に努める。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		同上
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		新規職員への引継ぎが不十分である。計画内容や支援方法の共有を行う時間を作る。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	利用児の特性上、集団活動が難しい場面が多い。そのため、帰りの会など、ルーティンの中で、周りと足並みをそろえる場面を作っている。	集団活動の機会は少ない。小集団での外出などを企画する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	4		勤務時間が異なるため、支援ソフトを使用して情報共有を行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4		送迎の兼ね合いがありできていない。支援ソフトを使用して情報共有を行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	3		企画書に、4つの基本活動の項目を盛り込み、複数組み合わせた活動になっているか確認できるようにする。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	4		学校以外との情報共有の機会は少ない。いつでも連携をできる体制は整えている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4		情報提供の準備はしている。各機関に求められれば、必要に応じて行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		現在は関係が薄い。研修など内容に応じて参加する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		現在は機会がない。長期休暇などに行えるよう企画する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		子ども部会なし。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳の活用や、送迎時に情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		保護者に対して事業所の通信などで、研修案内を行う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6		現在は行っていない。保護者同士のつながりを求めているかの意向調査を行い、必要に応じて実施する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	事業所の通信を月に一回発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		法人として実施はしているが、事業所としての実施はない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		訓練までは行っていないため、今年度実施する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	事業所の通信で安全計画の取り組みを伝えている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			